



【 追究学習を通した井波教育で育つ子供 】

- 卒業式まで1か
月を切りました。
6年生は、カウ
トダウンに入っ
ています。17日



- (金)の学習参観では、「栄光の架橋」の歌を披露したり、感謝の手紙を渡したりしました。保護者の中には、涙が出そうになった方もいたと聞きました。
- そんな6年生の特筆すべきことの一つは、「井波を感じてみません課」の学習を通して、井波小学校の目玉である「**追究学習**」を行い、「**井波教育(生き方教育)**」を実現したことです。今年の6年生の取組や姿は、私の38年間の教員人生の中で、トップクラスに入ります。そのほんの一端を、「実践のまとめ」から紹介します。

6月下旬にまち探検を予定していた。しかし、猛暑でその機会が流れてしまった・・・(中略)・・・そんな中、「先生、見て!」と、晴子が「まちなみラパン」でインタビューした内容をまとめた紙を見せてきた。「すごいね。これ、どうしたの?」と聞くと、「日曜日にお母さんで行ってきた。すごくかわいいお店で、まち探検で行きたいと思っていたから行ってみた。朝行くとお客さんがいっぱい、店の人に聞いたら、閉店後なら話ができと言われて、閉店後にもう一度行くと、いっぱいインタビューできたの。先生は、まちなみラパンに行ったことある? かわいいケーキがあるんだよ。それに、店内がウサギだらけで・・・。」まるでマシンガンのように、彼女は調べたことを私に語り尽くしたのだった。

- 授業時間以外に調査活動に行き、しかも閉店後にも再度訪問しました。十分インタビューしたという充実感をもち、先生にマシンガンのように語る晴子さん。どれだけ晴子さんが**強い追究動機をもって実行し、どんな思いで先生に語ったのか**、推測できます。実は、晴子さんは、これまであまり発言しない傾向があったらしいです。しかし、この追究を通して授業で発言し、その発言をきっかけに、周りの子供たちが「ぼくも実際に店に行って、インタビューする!」という意欲をもち、動き始めたのです。
- この事例は、大きな意味を教えてください。**後輩たちもよい影響を与える**でしょう。6年生の皆さん、今後も、井波教育の成果が十分発揮されることを期待しています。